



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和7年2月3日(月)
創立72周年 No. 10

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



「ひとりじゃないよ」って伝えられたなら

校長 河野 芳浩

真っ赤なサザンカが華やかに咲き、足元には白いスイセンが芳しい香りを放ちながらひっそりと咲いて、季節が確かに進んでいることを教えてくれています。

1月は、かきぞめ大会、マラソン旬間で駆け抜けるように過ぎていきました。ますます元気に、にぎやかに2月を迎えようとしています。

5年生の学習として「いじめについて考える授業」を、せたがやホッと子どもサポート「せたホッと」にお勤めの弁護士さんを講師にお迎えして行いました。

各クラス1時間ずつの学習で、子どもたち一人一人が自分のこととして真剣に話を聞いて、考える姿がみられました。

子どもたちの胸にしっかりと届いたメッセージは、「いじめに自業自得はない」ということ。いじめに自業自得はないというのは、どんな理由があっても、誰かをいじめることは絶対に正当化されないという意味です。いじめは問題を解決する方法ではなく、さらに問題を複雑にし、悪化させてしまいます。いじめは他人を傷つける行為であり、どんな理由があっても正当化されることはありません。

そして、「いじめはエスカレートする」ということ。エスカレートのイメージは、エスカレーター。一度乗ったら降りられない、どんどん高いところへ進んでいってしまいます。だから、エスカレーターに乗る前にしっかりと考えることが大切だと教えていただきました。

いじめられている子は一人ぼっちになりがちです。講師の方が高校時代に同じ部活動内でのいじめを助けられなかったご自身の体験を通して、もしいじめられている子がいたら勇気を出して「ひとりじゃないよ」と声をかけてほしい、と話してくださいました。

大切なことを学びました。日頃から大切にしている「命を大切にすること」「自分を大切にすること」に友達を大切にすることと共に、今回の学びを心の真ん中にしっかりと置き、一人一人が勇気と想像力を働かせて、みんなでつくるみんなのからきた小の生活を楽しくしていきたいと考えます。

今月も子どもたちの限りない成長を願い、学校と保護者・地域の皆さまとの「みとめあい・まなびあい・そだてあい」に励んでまいります。今月もよろしくお願いいたします。

2月うまれのおともだちへ

おたんじょうびおめでとうございます。寒さはまだまだきびしくなりますが、何か楽しいことができそうなワクワクがいっぱいのすてきな季節です。

みんなのけんこうがささえられて、まいにちたのしくすごすことができますように。新しく年をかさね、いつもよろこび、つねにかんがえ、すべてのことにかんしゃしながら、新しいチャレンジを楽しんでくださいね。おうえんしています。